


2018年度「国際常民文化研究機構」(A)共同研究(一般)申請書
(文部科学省 共同利用・共同研究拠点)

公募のテーマ	① 2 3 4 (左のいずれかに○をしてください)		
研究課題名	台湾の「海女(ハイラー)」に関する民族誌的研究 —東アジア・環太平洋地域の海女研究構築を目指して—		
申請者氏名 (研究代表者)	(ふじかわ みよこ) 藤川美代子		所属機関 職 専門分野 南山大学人類学研究所・ 第一種研究所員・ 文化人類学
研究 組 織	氏名(アルファベット順)	所属機関・職・専門分野	分担課題
	1. 新垣 夢乃	東京福祉大学・特任講師 専門:民俗学 (タコ漁の民俗・漁場利用の諸制度)	海女の漁法、資源をめぐる社会制度 ⇒①漁期・漁獲物の種類・漁法の種類に関する調査、②漁撈活動のサイクルと漁撈技術の分析、③漁場・資源利用をめぐる社会制度の分析
	2. 藤川 美代子	南山大学・准教授 専門:文化人類学 (中国の船上生活者・家族史)	海女のくらしを支える陸上ネットワーク ⇒①海女の日常生活に関する調査、②海女の家族・親族、祭祀組織、地域の互助集団、個人的な交友関係に関する調査、③海女の漁撈活動を支える陸上のくらしと人的ネットワークの分析
	3. 許 焜山	八斗子漁村博物館・館長 専門:歴史学 (基隆漁村の歴史)	海女の生きる「海付きの村」の歴史 ⇒①地域に現存する歴史資料・公文書の収集、②海女がくらす「海付きの村」の成立過程についての通史的把握・分析、③漁業の近代化と海女の漁撈の変遷についての分析、④日本統治下における日本人漁師との技術交流についての調査・分析
	4. 藍 紹芸	八斗子漁村博物館・学芸員 専門:物質文化研究 (民具・漁具)	「海付きの村」の漁具と技 ⇒①村の漁撈活動で用いられる漁具の収集・利用法の調査、②漁具の製作に関わる技とその伝承についての調査・分析
	5. 齋藤 典子	東洋大学人間科学総合研究所・ 客員研究員 専門:社会人類学 (日本の海女・労働・ジェンダー)	ジェンダーから見る海女の漁撈活動 ⇒①漁場利用・漁業権・漁獲物の取引に関する海女と男性漁師の比較、②海女の技術・知識の伝承と後継者育成に関する調査・分析、③地域・家庭において海女の労働が担う役割の分析
	6. 沈 得隆	八斗子漁村博物館・学芸員 専門:写真・映像撮影 (基隆漁村の民俗)	海女のくらし・インタビューの映像化 ⇒①海女のくらし全般についての映像化、②海女のライフヒストリーのインタビュー・映像化
	7. 安室 知	神奈川大学・教授 専門:民俗学 (海付きの村の民俗・複合生業論)	海女の環境認識、漁獲物の利用 ⇒①山・陸・磯・海などに対する海女の空間認識についての調査・分析、②漁獲物の利用法についての調査、③海洋保護政策と海女のくらしについての調査・分析